

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
子育て支援イベント事業			西区 子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3	
<p>①西区内の公園や体育館に出向き、子育て家庭向けイベントを実施することにより、普段、区役所で行われるイベントや校区子育てサロンに参加していない子育て家庭に対して、堺市の子育て支援情報をPRし、子育てサロンや子育てひろばの案内など子育て支援サービスの利用を促進して、親子同士の交流を図り育児の孤立化の予防につなげる。また、屋外ならではの遊びを提供し、戸外遊びの楽しさ・重要性を伝える。</p> <p>②子育て家庭が子育て支援の利用に関する情報を獲得し、子育て支援サービスの利用を促進する。</p>	<p>①堺市の子育て支援情報紙を配布、配架 保育士・保健師による子育て相談(随時) 絵本の読み聞かせ、紙芝居、親子で遊べる手遊び 公園や体育館で大勢の子どもたち同士でできる遊具を使った遊び</p> <p>②子育て世代に向けた講座イベントの開催 ただし、今年度は新型コロナウイルスの影響により、予定していた事業の半分は実施できず、オンラインでの子育て講座を実施した。</p>	<p>イベント・講座参加人数</p>	<p>188名</p>	<p>15名</p>	<p>87名</p>	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
<p>◎ 親子で楽しめる催しに参加し子育て疲れを解消したり、親子同士の交流により子育てに関する悩みを共有し、保育士、保健師から具体的な助言ができた。堺市の子育て支援の情報を幅広い人たちに知ってもらい、育児の孤立化予防に効果があり、必要性は高い。</p>	<p>◎ 西区内の公園や体育館を複数活用予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となり1つの公園のみ活用できた。子育て講座及びイベントは区が主体となり準備等を行ったが、当日は参加者が自発的に参加者同士の交流を図ったり悩みの共有等を行っている。</p>	<p>◎ 子育て講座の動画をYouTubeで配信したことで、これまで対面式やオンライン型であっても人数制限を設けていたものが、希望者全員に期間内にいつでも視聴してもらうことができた。</p>	<p>○ オンラインでの講座は参加へのハードルが高く、オンライン特有の課題もあるため、まだ多数の参加を見込むことが難しい。今後誰でもスムーズに参加できるような工夫が必要である。しかし対面式で行うよりも職員の準備時間等がかからず、参加人数も増やすことができるため効率的である。</p>			
⑤自立発展性	総合評価					
<p>○ 昨年度に引き続き、今年度も叶わなかったが、イベント事業において、子育てアドバイザー等、地域の支援者にも参加していただくことで、市民協働に発展していけるように図っていきたい。</p>	<p>○ 今年度は新型コロナウイルスの影響で、西区内の公園や体育館を活用してのイベントがほとんど中止となった。しかし子育て講座及びイベントはオンラインの活用を行ったため、概ね予定通り実施できた。特に10月には「認定こども園・保育所等の入所に向けて」というテーマで動画を作成し、約1ヶ月間受講希望者がいつでも視聴できる環境を作り、より多くの希望者に情報を伝えることができた。対面式でのイベントは参加者からのアンケートの結果、満足度は100%であり、対面で他者との交流を図りたいとのニーズがあることがわかった。今後は多数の希望者に情報を伝える方法を検討すると同時に子育て家庭同士が交流をもてる機会を積極的に作っていく必要があると考える。</p>					
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>今年度は各事業が中止となり、オンラインの手法を取り実施したが、本来は対面的に事業を展開し実際にふれあいながら、遊びの楽しさや重要性、また子育て支援の利用に関する情報を提供し、具体的な悩みを共有し、助言を行っていきたい。しかし一方で講座やイベントには参加できなくても、いつでも都合の良い時に講座を受けたり情報を得られる環境や、乳幼児等のいる家庭で、そもそも外出自体ができない場合、対面式よりオンライン型の講座等の実施が求められていることがわかった。また、対面式の講座、イベントでは希望しても人数制限があるために参加できない市民がいることも事実である。オンライン型は、職員の準備時間等が減る、参加人数を増やすことができる点でメリットがあるため、今後は引き続き対面型に加え、対面型のメリットをできるだけ生かしたオンライン型の両輪で事業展開することを検討していきたい。</p>					